

# 世界的にも珍しい貴重種 シダレカツラ

盛岡の花は『カキツバタ』  
そして盛岡の木は『カツラ』。  
市内3か所にある貴重種の「シダレカツラ」は  
国の天然記念物に指定されています。



「カツラ」は、山地に自生する落葉樹で普通直立型の枝ですが、この「シダレカツラ」は枝がしだれ、学術上も珍奇な変種とされています。

「シダレカツラ」は早池峰山周辺の山中でただ1本発見された固有種で雄株しか見つかっておらず、その後、市内大ヶ生の瀧源寺に移植されました。天然記念物に指定されているこの肴町のシダレカツラ（民間所有）は、同じく天然記念物に指定されている門のものと同様、瀧源寺から根分けして植栽されたもの。国内で見られる他の「シダレカツラ」も、これらの木を基に昭和になって考えられた接ぎ木の技術で繁殖させたものですが、基が雄株しかないため現在ある「シダレカツラ」は、当然ながらすべて雄木しかありません。

空に向かってそびえ立つその巨大な姿は、まさに盛岡を代表する樹木といえます。

